

K.I.T. Yumekobo Formula Car Project

# Monthly Report

2019.9,10,11 月号

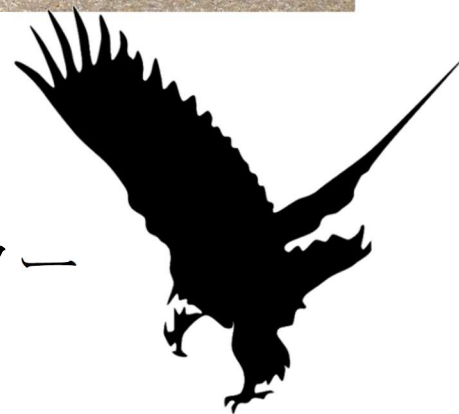


† INDEX †

9,10,11 月間活動報告

KIT-20model テクニカルディレクター  
から挨拶

12月の予定



Vol.19

## 1. 活動報告

### <9月>

9月9日にドライバー以外のメンバーが車両に乗る機会を設けました。KIT-19modelに乗ったことがあるのはドライバーのみでした。これから設計を始める1年生も運転をし、メンバーのKIT-20modelを製作する意欲を高める良い機会になりました。

9月30日に株式会社TAN-EI-SYA様を訪問し、第17回大会の結果報告とKIT-19modelの年間活動報告を行わせていただきました。弊チームはホイールのご支援を頂いており、各報告とともに新ホイールのご支援も頂きました。ご支援して頂いたホイールはKIT-19modelの検証走行、KIT-20model以降の車両に使用させていただきます。

### <10月>

10月6日に大会後の検証を行いました。ホイールを新調してから初めての検証試走であったので、車両の限界性能を引き出すために足周りのセッティングを改めて行いました。

10月19日と10月20日は本学の学園祭である工大祭が行われ、弊チームでは夢考房でKIT-19modelの展示とエンジン始動を行いました。たくさんの方々に展示ブースを訪れていただき、弊チームの活動を多くの人に知って頂く良い機会になったと思います。

10月26日と10月27日は本格的に車両運動性能の検証を行いました。試験内容は定常円旋回、スラローム、車線変更試験を行い、足周りの試験を行いました。11月9日に行われる北陸合同試走会に向けて良いセッティングを出すこともできました。

### <11月>

9日に本学八束穂リサーチキャンパスの駐車場にて、北陸合同試走会を行いました。今回の合同試走会では、金沢大学様、福井大学様、富山大学様に参加して頂きました。走行内容はスキッドパッドと弊チーム考案の周回コースを走行しました。周回コースではラップタイムを計測し、他チームと共有しました。また、各大学で車両の乗り比べを行いました。ドライバーは各大学の車両を比較し、ドライバーインプレッションは今後の設計に大変参考になりました。

試走会の終盤には各大学交流をする時間があり、静的審査書類の質問を行ったり、設計中に発見した問題点や疑問点について話し合いました。図1に合同試走会の様子、図2に集合写真を示します。



図1 北陸合同試走会の様子



図2 北陸合同試走会参加チームの集合写真

11月16日に夢考房の大掃除がありました。普段活動している作業スペースや溶接場の清掃を行いました。普段の清掃では手の届かないところまで清掃をすることができました。今後も大切に施設や備品を利用させていただきます。

11月23日に神奈川県株式会社レゾニック・ジャパン様に車両計測をしていただきました。株式会社レゾニック・ジャパン様は今年度から新規スポンサーとして車両計測のサービスのご支援を頂くことになりました。今回使用させて頂いた計測機は「Resonic-F」と呼ばれる機械で、質量、重心、慣性モーメントといった慣性特性を計測して頂きました。今回計測して頂いたデータはKIT-20modelの設計の参考値として使用させていただきます。図3は計測の様子です。



図3 計測の様子

11月30日に名古屋大学主催の静的交流会に参加しました。デザイン審査やコスト審査について詳しく知らない1年生にもわかりやすいプレゼンテーションをして頂きました。終盤に他チームの方と情報交換をする機会があり、車両について、デザイン審査について、コスト審査についてディスカッションすることができました。静的審査で良い結果を残せるように頑張ります。

## 2. KIT-20model テクニカルディレクターから挨拶



工学部 機械工学科 2年  
 青木 侃汰  
 (アオキ カンタ)  
 KIT-20model  
 テクニカルディレクター

この度、KIT-20model のテクニカルディレクターを務めることになりました青木侃汰です。この場をお借りして KIT-20model について決まったことをご報告させていただきます。

KIT-20model の車両コンセプトは昨年に引き続き「ドライバーの扱いやすい車両」となりました。KIT-20model を製作するメンバーが少ないこともあり、最低地上高以外は車両諸元を変更せず、KIT-19model のアップデートに努めます。表 1 に車両諸元を示します。

表 1 車両諸元

ホイールベース	1680[mm]
トレッド (前後)	1200[mm]
車両重量	240[kg]
前後重量配分	47:53
エンジン	SUZUKI GSX-600 L5
最高出力	53.3[kW]/10800[rpm]
最大トルク	58.3[kgm]/7900[rpm]
タイヤ	Hoosier20.5×7.0-13 R25B
ホイール	13inch TWS Mg Wheel
サスペンション形式	前後ダブルウィッシュボーン
エアロダイナミクス	前後ウイング

KIT-19model の目標順位は総合 16 位でした。今年度大会を振り返ると、上位校のトラブルもあったものの、エンデュランスを完走できていれば総合 20 位以内に入っていたということがわかりました。そこで、今年度達成できなかった目標を達成するため、来年度大会の目標順位を 20 から 16 位としました。目標順位を達成するための得点と目標タイムを過去 5 回の大会結果から予想し決定しました。各種目の目標順位、目標タイムを表 2 に示します。

表 2 目標順位、目標タイム

種目		得点	タイム(s)
静的審査	コスト	46/100	
	デザイン	70/150	
	プレゼン	50/75	
動的審査	アクセラレーション	70/100	4.35
	スキッドパッド	39/75	5.30
	オートクロス	99/125	59.50
	エンデュランス	183/275	1400
	燃費	50/100	
総合得点		607/1000	
総合順位		16~20	

以上の目標を持って今後の活動に精進して参ります。今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### 3. 12月の予定

- ・ 7日(土)スズキ株式会社様合同報告会
- ・ 26日(木)～1月6日(月)年末年始休暇

---

---

#### **K.I.T. Yumekobo Formula Car Project Monthly Report**

編集：成木 忠明

発行：金沢工業大学 夢考房フォーミュラカープロジェクト

〒921-8501

石川県野々市市扇が丘 7-1

金沢工業大学 夢考房フォーミュラカープロジェクト

E-mail: [kit\\_fmc@hotmail.com](mailto:kit_fmc@hotmail.com)

ご意見・ご感想などございましたら上記までご連絡ください。